

## 長岡京市営浴場運営委員会(令和6年度第1回)報告書(要旨)

日 時：令和6年7月10日（水）午前10時～11時00分

場 所：北開田会館1階大会議室

出席者：奥本会長、舛田委員、北村委員、野老委員、西村（喜）委員、西村（淳）委員  
野間口委員、吉岡委員

担当者：田端室長、徳田室長補佐、井上、中地（地域福祉連携室）  
梶原館長（北開田会館）

### 配布資料

- ・令和6年度長岡京市営浴場運営委員会（レジメ）
- ・令和5年度 浴場利用者人数調べ（資料1）
- ・令和5年度 長岡京市営浴場決算書（資料2）
- ・ふれあいの湯 ウィークポスター

### 会議内容

#### （1）浴場の運営状況について

（各項目について事務局から説明）

##### ①5年度の利用状況（資料1「令和5年度浴場利用者人数調べ」より）

- ・年間の営業日数は308日、利用者数は、大人が15,401人、子供が336人、70歳以上が17,977人、合計33,714人となった。令和5年度は5月に新型コロナが5類に移行するなど、新型コロナの影響がほとんど見られなくなったが、コロナ前の元年度37,931人と比較すると、利用者数は減少傾向にある。
- ・利用割合は大人が45.7%、70歳以上が53.3%、子供が1.0%となっており、これまでと同様に高齢者の割合が高いが、最近は少しずつ大人と子供の利用割合が増えてきている。

##### ②コインパーキングの利用状況

- ・コインパーキングを開始した12月は1日平均7.2台であったが、直近の5月は1日平均13.5台に増加している。
- ・浴場利用者による周辺道路の迷惑駐車は減少している。

##### ③夏休みこども無料キャンペーン

- ・5年度はふれあいの湯の利用促進を図るために小学校の夏休み期間中（7月20日～8月25日）夏休みこども無料キャンペーンを実施した。期間中に57人の利用があった。

6年度も7月20日から8月25日の夏休み期間に子供無料キャンペーンを実施する予定。

市広報紙や地元の北開田だよりへの掲載、市ホームページ、市LINEを使った広報の実施、浴場や、近隣の市広報板にポスターを掲示、近隣の小学校（第六小、第七小）にチラシを配布し周知を図る予定。

#### ④浴場建物女湯入口前のタイルの補修について

6月4日浴場の女湯入口前のタイルが約9m<sup>2</sup>の広さで浮き上がっている状況を確認。経年劣化と暑さでタイルが浮き上がったものと推測される。該当箇所を立ち入り禁止にして、6月13日から17日の期間で通常営業を行いながら緊急修繕を実施した。

#### 【主な質疑及び意見】

・年間を通しての浴場の利用者数は大幅に増えることはないが横ばいで、令和5年度の夏休み子ども無料期間については、HPや広報板等の広報活動が浸透していたのではないかと思う。浴場利用者の駐車場の利用も想像していたよりも少ないようだが、周辺の路上駐車は減ったように感じる。

・当浴場は利用料も安く、そこまで混まず、掃除もされているが、なぜ利用者が多くないのか疑問に感じている。どうすれば利用者のニーズに応えて、利用者を増やせるのか考えてほしい。問題点の一つとして、湯の温度が熱すぎるのではないかと考える。

⇒(委員)湯の温度について、熱いと感じるならば浴槽についている蛇口から水を出し、調整すればいいのではないか。

⇒(事務局)湯の温度を下げるることは可能だが、過去に湯の温度を下げた際にぬるいという意見をいただいたことがある。また、令和5年度に実施したアンケートでは約7割の方から湯の温度は適切であるという意見をいただいている。湯の温度は人によって感じ方が異なることから、アンケート結果を踏まえ現状維持で対応させていただきたい。

・利用者数が多くないことについて、営業時間が夕方からであることが影響しているのではないか。また、利用者数を増加させることを考えるならばもう少しPR活動を行うべきではないか。

⇒(委員)駐車場が整備されていること等も含めて、利用者にPRしていけたらと考える。夏休み子ども無料期間の実施や駐車場の活用も含め、利用者へのサービス向上は進められており、運営委員会で出た意見をもとに、修繕や要望は必要に応じて対応していただいていると感じている。

・浴場の営業時間は午後10時までであるが、午後9時30分頃に番台従事者から早く上がるよう催促されることがあると聞いた。午後10時までに浴場から出れば問題な

いのではないか。

⇒(事務局)営業終了の午後10時までは施設を利用できることを番台に指導している。利用者が退場の催促をされて不愉快な思いをされているという今回の意見を踏まえて、再度、番台に指導をする。

## (2) 令和5年度決算について (資料2「令和5年度長岡京市営浴場決算書」より)

(各項目について事務局から説明)

- ・歳入の合計は、5,170,010円
- ・歳出の合計は、17,145,098円

### 【主な質疑及び意見】

・令和5年度の燃料費が予算額と決算額で100万円ほど異なるのはなぜか。

⇒(事務局)令和5年度は燃料費の高騰を踏まえた予算を計上していたが、国による燃料油価格激変緩和措置により、燃料費の単価が抑制されたことから決算額との差が生じた。

・1年間に市が負担する経費として支出から収入を引いた額が1,000万円以上になっているが、市民への福祉の施策として必要な経費と考えれば、決して高くないとも考えられる。自治体によっては市営浴場が無いところもあり、市営浴場の存在は市の誇りであると考えている。

## (3) 今後の浴場運営のあり方について

- ・浴場運営に関する意見等について、意見交換

### 【主な質疑及び意見】

・他の自治体の市営浴場を視察してはどうか。施設の面でも、運営方法についても他の市営浴場と比較することで課題点を見つけることができるのではないか。

⇒(委員)過去に京都市、亀岡市に視察に行っており、市営浴場の運営の参考にしている。